

NO MORE ヒロシマ NO MORE フクシマ
NO MORE コリ NO MORE ミリヤン・チョンド

2014. 8. 6 韓日青空共同行動 宣言文

第2次世界大戦末期の1945年8月6日、アメリカは日本の広島と長崎に核爆弾を投下した。数えきれないほど多くの生命と数十万の民衆は生命の光を失い、都市は廃虚になった。その後69年が過ぎた今、人類はスリーマイル、チェルノブイリ、フクシマで災禍を体験したにもかかわらず、核を放棄していない。

安倍政権の原発再稼働と原発輸出に反対する

安倍政権は日本国内で原発を相次いで再稼働させるだけでは足りずに、サウジアラビア、トルコ、アラブ首長国連邦、インド、ハンガリー、ブラジルなどへ原発輸出を推進している。あたかも安倍政権は福島事故が終わったように主張する。さらに福島事故を通じて日本が高い技術力を確保することになったと主張して原発セールスに乗り出している。だが、福島事故は終わっていない。汚染水は海に放出され続け太平洋を死の海にしており、福島原発事故の処理にあたっている労働者は放射性物質によって被爆しつづけている。

核には人格がない。平和のためにもすべての核に反対する

2011年6月22日、日本は原子力基本法に、これまでなかった「安全保障条項」を挿入した。核をエネルギー生産など平和的利用にだけ限定しないで軍事用核物質を生産できる根拠を用意したのだ。また、米日軍事同盟は核で武装した軍事同盟だ。沖縄をはじめとする日本国内の米軍基地に核兵器が搬入されつづけてきたし、横須賀基地は原子力航空母艦であるジョージ・ワシントン号が母港として使用している。

アメリカの対中国包囲戦略、韓-米-日の軍事訓練、北朝鮮の核実験とミサイル発射、領土紛争など東北アジアは戦争の機運を高めている。そしてもしも戦争が起きるとすれば、それは核戦争になるだろう。

核は野蛮だ

韓国は世界最大の原発密集度を誇っている。2014年3月現在、韓国は23基の原発が稼働中だ。この中には設計寿命を過ぎたコリ1号機とウォルソン1号機が含まれて

おり、部品に関する不正と事故の隠蔽が絶え間なく発生している。韓国の密陽(ミリャン)と青道(チョンド)に示されているように、原発政策によって送電塔を建設される地域の共同体が破壊されている。生活の基盤を守ろうとする住民たちの絶叫を暴力的に鎮圧する野蛮な出来事が起こっている。

核発電によって発生するプルトニウムは、核兵器へと生まれ変わり、すべての生命を脅かし、核発電によって発生する核廃棄物は土地と水を汚染し、核発電で生産した大量の電力を運ぶために建設しなければならない送電塔は生活の基盤を奪う。だから核は野蛮だ。

持続可能な環境社会のために長時間労働社会を変えよう

韓国と日本両国の民衆はすべての核に反対する。核事故は地球のすべての生態系を破壊し人類の共存を脅かすほど危険だが、核兵器と原発はますます増加している。私たちの社会は今直ちに核エネルギー政策から再生可能なエネルギー政策へと転換しなければならない。貪欲な1%の人々の利潤のために24時間製品を生産し消費する工場と大型スーパーマーケット、これを維持するためには原子力発電所をさらに作らねばならず、労働者は24時間仕事をせねばならない。このような野蛮な時代を終息させるべきだ。

よって私たちは核の危険から抜け出す権利を要求して、韓-日両国の労働者民衆をはじめとする全世界民衆と共に叫ぶ。

- 一、停止した原発、および老朽原発の稼働を中断して直ちに閉鎖せよ!
- 一、進行中の原発建設を直ちに中断し、新規原発建設計画を直ちに破棄せよ!
- 一、運営中のすべての原発の廃炉計画を樹立し持続可能なエネルギー政策へと切り替えよ!
- 一、長時間労働社会を撤廃し、労働と環境が共存できる社会へと切り替えよう!

2014年8月6日

2014.8.6 韓日青空共同行動参加者一同